

32. DPP4 阻害薬によるラット IFALD モデルに対する肝線維化抑制効果

末吉亮<sup>1</sup>、山田進<sup>1</sup>、川上万留実<sup>2</sup>、石井惇也<sup>1</sup>、田邊賢司<sup>2</sup>、世川修<sup>1</sup>  
 (1小児外科学、<sup>2</sup>総合医科学研究所)

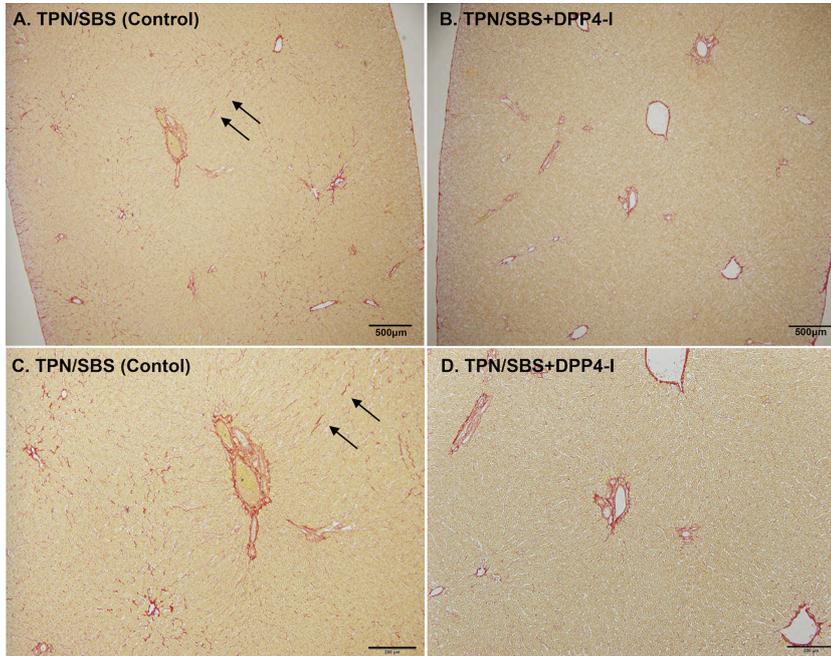


図 1. Sirius red 染色

- A. TPN/SBS(Control) 群: 低倍率 門脈領域に肝線維化所見を呈している。
- B. TPN/SBS+DPP4-I 群: 低倍率 肝線維化所見を認めない。
- C. TPN/SBS(Control) 群: 高倍率 門脈領域に肝線維化所見を呈している。
- D. TPN/SBS+DPP4-I 群: 高倍率 肝線維化所見を認めない。

50. CBL 変異を有する慢性骨髄単球性白血病における UTX 機能欠失による急性転化機構の解析に関する研究

黒川美有、世良康如、岩崎正幸、本田浩章  
 (実験動物研究所)

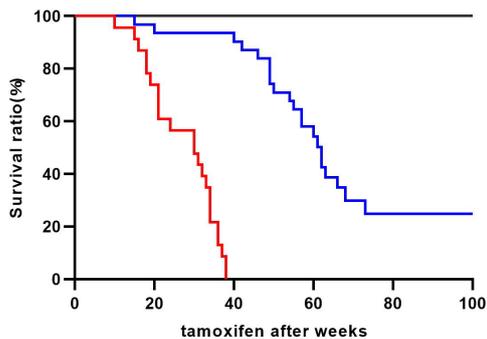


図 1. Tamoxifen 投与後の生存曲線

— Cbl<sup>fl/fl</sup>, UTX<sup>fl/fl</sup>, Cre-  
 — Cbl<sup>K1/K1</sup>, UTX<sup>Wt/Wt</sup>, Cre+  
 — Cbl<sup>K1/K1</sup>, UTX<sup>Δ/Δ</sup>, Cre+

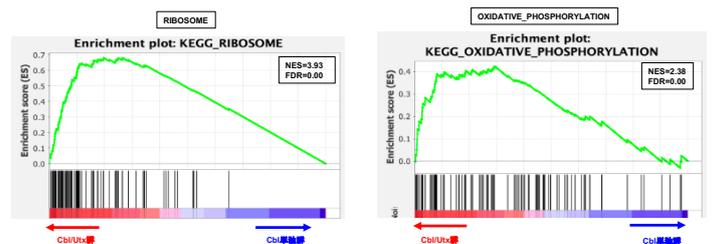


図 2. Tamoxifen 投与 4 週間後のパスウェイ解析

61. 中皮腫における EZH2 の発現の検討

廣島健三<sup>1</sup>、尾崎大介<sup>2</sup>、中澤匡男<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>八千代医療センター・病理診断科、<sup>2</sup>千葉労災病院・病理診断科)

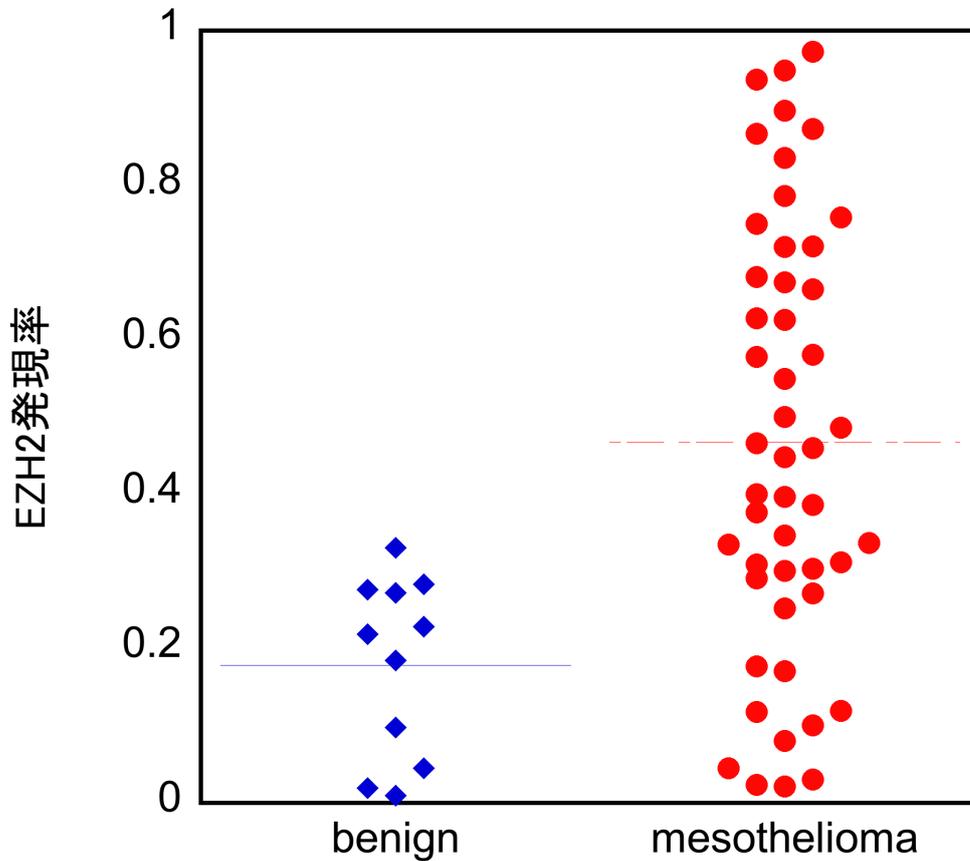


図1. 良性病変と中皮腫における EZH2 の発現率。benign, 反応性中皮または良性腫瘍; mesothelioma, 中皮腫.

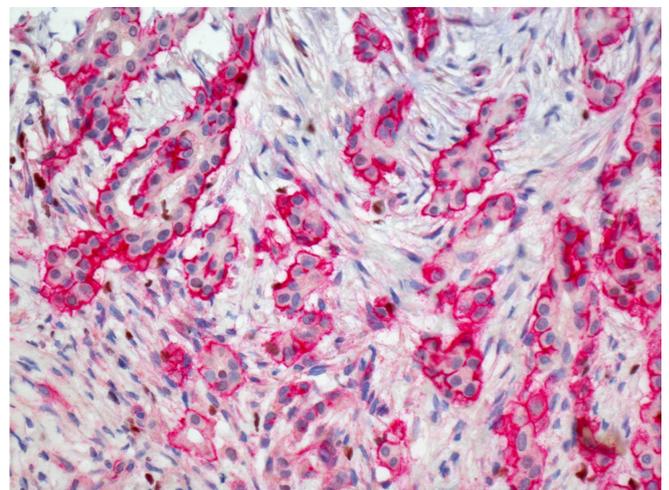
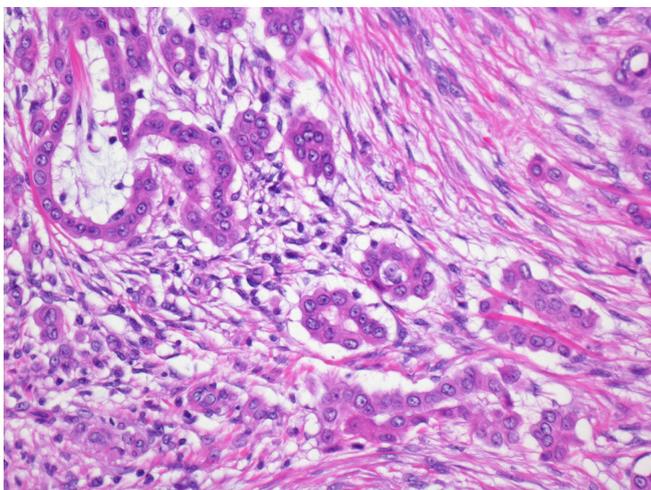


図2. 上皮様中皮腫。左図:HE 染色。右図:EZH2 と HEG1 の 2 重染。HEG1(赤)により、中皮腫細胞と間質細胞を鑑別できる。EZH2-low。